

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

※ 申立書の写しは相手方に送付されますので、あらかじめご了承ください。

受付印	<input checked="" type="checkbox"/> 調停 家事 申立書 事件名 (財産分与) <input type="checkbox"/> 審判	
	(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。) <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 80px;">印紙</div> (貼った印紙に押印しないでください。) 収入印紙 円 予納郵便切手 円	

<input type="radio"/> <input type="radio"/> 家庭裁判所 御中 平成 <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	乙 川 春 子 印
---	-----------------------------	---

添付書類		準口頭
------	--	-----

申 立 人	本籍 (国籍)	都道 府県	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。)
	住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 県 <input type="text"/> 市 <input type="text"/> 町 <input type="text"/> 番 <input type="text"/> 号 <input type="text"/> マンション <input type="text"/> 号 ※裁判所から連絡がとれるように正確に記入していただく必要がありますが、 ご不明な点があれば、申立書を提出される裁判所にお問い合わせください。(方)	
	フリガナ 氏名	オツカワ 乙 川 春 子	大正 昭和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日生 平成 (<input type="text"/> 歳)
相 手 方	本籍 (国籍)	都道 府県	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。)
	住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 県 <input type="text"/> 市 <input type="text"/> 町 <input type="text"/> 番 <input type="text"/> 号 ※裁判所から連絡がとれるように正確に記入していただく必要があります。(方)	
	フリガナ 氏名	コウノ 甲 野 一 郎	大正 昭和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日生 平成 (<input type="text"/> 歳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

申 立 て の 趣 旨

相手方は、申立人に対し、財産分与として金〇〇〇万円を支払うとの調停を求めます。

申 立 て の 理 由

1 申立人と、相手方は、平成〇年〇月〇日婚姻し、一男一女をもうけましたが、相手方の異性

関係が原因で、夫婦関係が破綻し、平成〇年〇月〇日、未成年者らの親権者を申立人と定めて協議離婚しました。

2 相手方は、〇〇会社に勤務し、約〇〇〇万円の年収を得ており、また、別紙財産目録記載の不動産を所有しています。

3 申立人は、婚姻当時勤務していた会社に平成〇年〇月〇日まで勤務し、その後、平成〇年〇月から現在に至るまで、パートタイマーや正社員として勤務しました。

4 申立人と相手方が婚姻をした当初は資産というべきものではありませんでしたが、申立人と相手方が協力して蓄えた資産によって前記不動産を購入し、別紙の財産目録記載の預金をしました。

5 このように、申立人の稼働及び家事労働による寄与によって、相手方は前記不動産を取得し、預金をしたのですから、財産分与として不動産の時価の2分の1に該当する金員と預金の2分の1の金員の支払を相手方に求めましたが、相手方は話し合いに応じようとしませんので、申立ての趣旨のとおり調停を求めます。

財 産 目 録

【土 地】

番号	所 在	地 番	地 目	地 積	備 考
1	〇〇市〇〇町〇丁目	〇 番 〇	宅地	平方メートル 150 00	建物1の 敷地 評価額 〇〇〇万 円

財 産 目 録

【建 物】

番号	所 在	家 屋 番 号	種 類	構 造	床 面 積	備 考
1	〇〇市〇〇町〇丁目〇番地	〇 番 〇	居宅	木造瓦葺平家建	平方メートル 90 00	土地1上 の建物 評価額 〇〇〇万 円

財 産 目 録

【現金, 預・貯金, 株式等】

番号	品 目	単 位	数 量 (金 額)	備 考
1	〇〇銀行定期預金 (番号〇〇〇-〇〇〇〇)		3, 104, 000円	
2	〇〇銀行普通預金 (番号〇〇〇-〇〇〇〇)		800, 123円	